



もっと詳しく知りたい人は二次元コードを読み取っていただき、市ホームページをご覧ください。

# 平成 29 年度 決算状況報告

(単位:%)

健全化判断比率	南あわじ市		早期健全化基準	財政再生基準
	29年度	28年度		
<b>実質赤字比率</b> (普通会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率)	-	-	12.69	20.00
<b>連結実質赤字比率</b> (全ての会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率)	-	-	17.69	30.00
<b>実質公債費比率</b> (借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度を見る比率)	14.3	14.4	25.0	35.0
<b>将来負担比率</b> (市が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度を見る比率)	135.6	141.2	350.0	-

※赤字が生じない場合は、「-」と表示

(単位:%)

資金不足比率	南あわじ市		経営健全化基準	備考
	29年度	28年度		
<b>資金不足比率</b> (企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度を見る比率)	-	-	20.0	会計ごとに算定

※資金不足が生じない場合は、「-」と表示

**決算の概要**

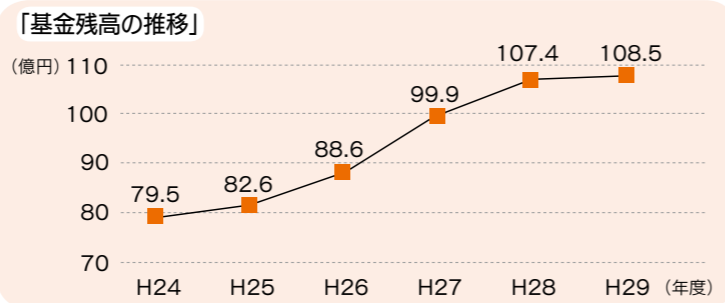
平成29年度の歳入は、昨年度と比較して、地方交付税が合併による特例の段階的縮減の影響から3億5641万円減、寄附金でふるさと南あわじ応援寄附金の減により1億2万円減となるなど全体では1.4%の減となりました。

増、農林水産業費で野菜産地総合整備対策事業(国補助事業で農業用機械・設備導入に対する補助)の実施等により3億177万円増、消防費で消防団員の退職者増による影響等から1億2264万円増がありました。諸支出金で基金の積立額の減により6億6841万円の減となり、全体では1.7%の減となりました。

## 基金残高 108 億 4,626 万円

特定の目的のために資金を積み立てたり、運用したりする市の「貯金」です。

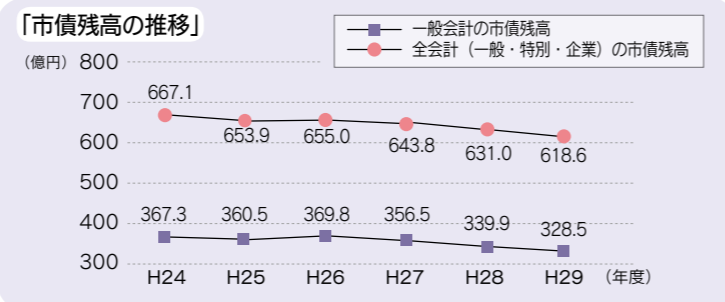
市民 1 人あたり 22 万 7,000 円



## 市債残高 328 億 4,578 万円

大きな事業を行う際に、銀行等から借り入れた市の「借金」です。

市民 1 人あたり 68 万 7,600 円



## 主な平成 29 年度事業



**ふるさと応援寄附金事業**  
総務費 1 億 4,090 万円  
ふるさと南あわじ応援寄附金、地元特産品の PR を行いました。



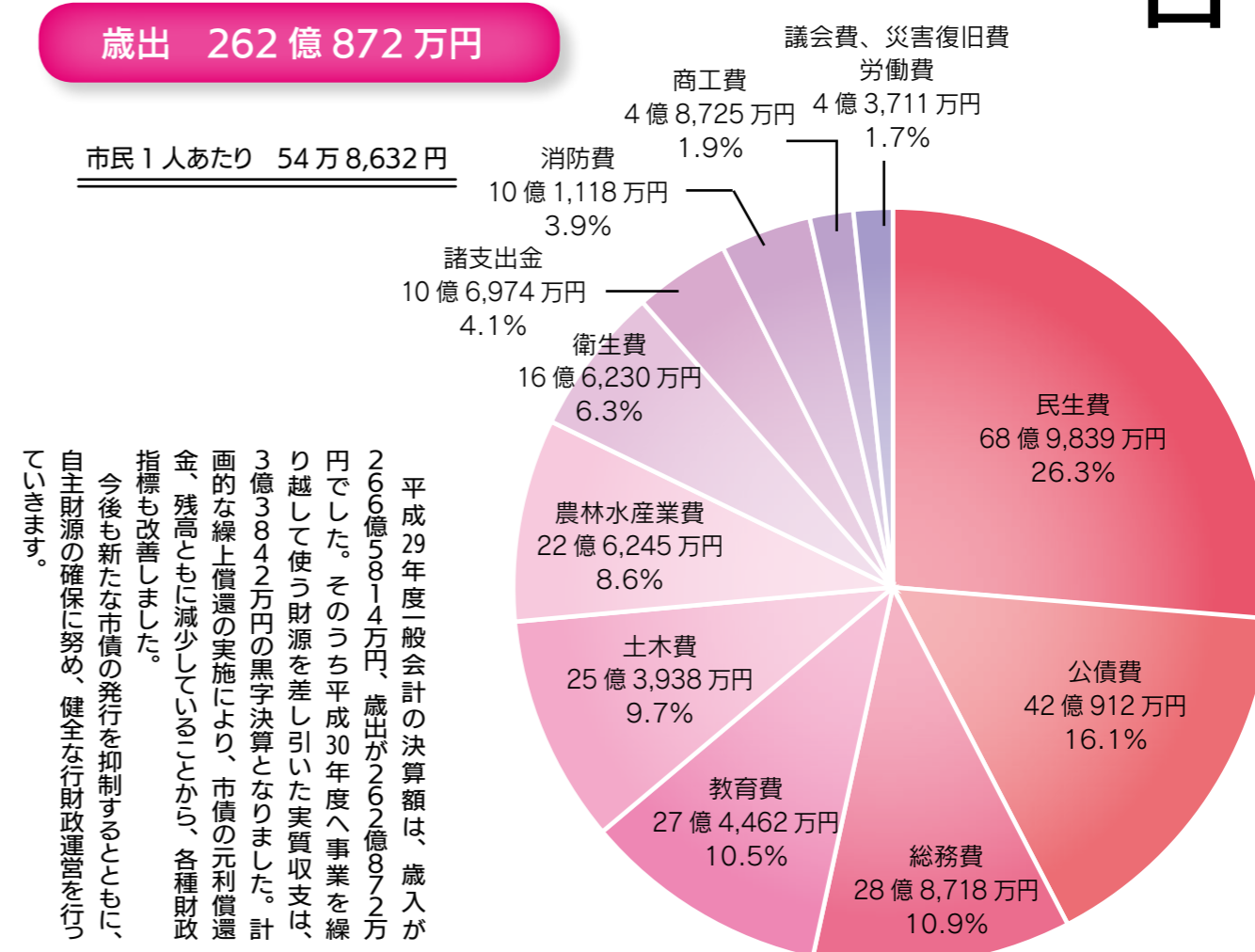
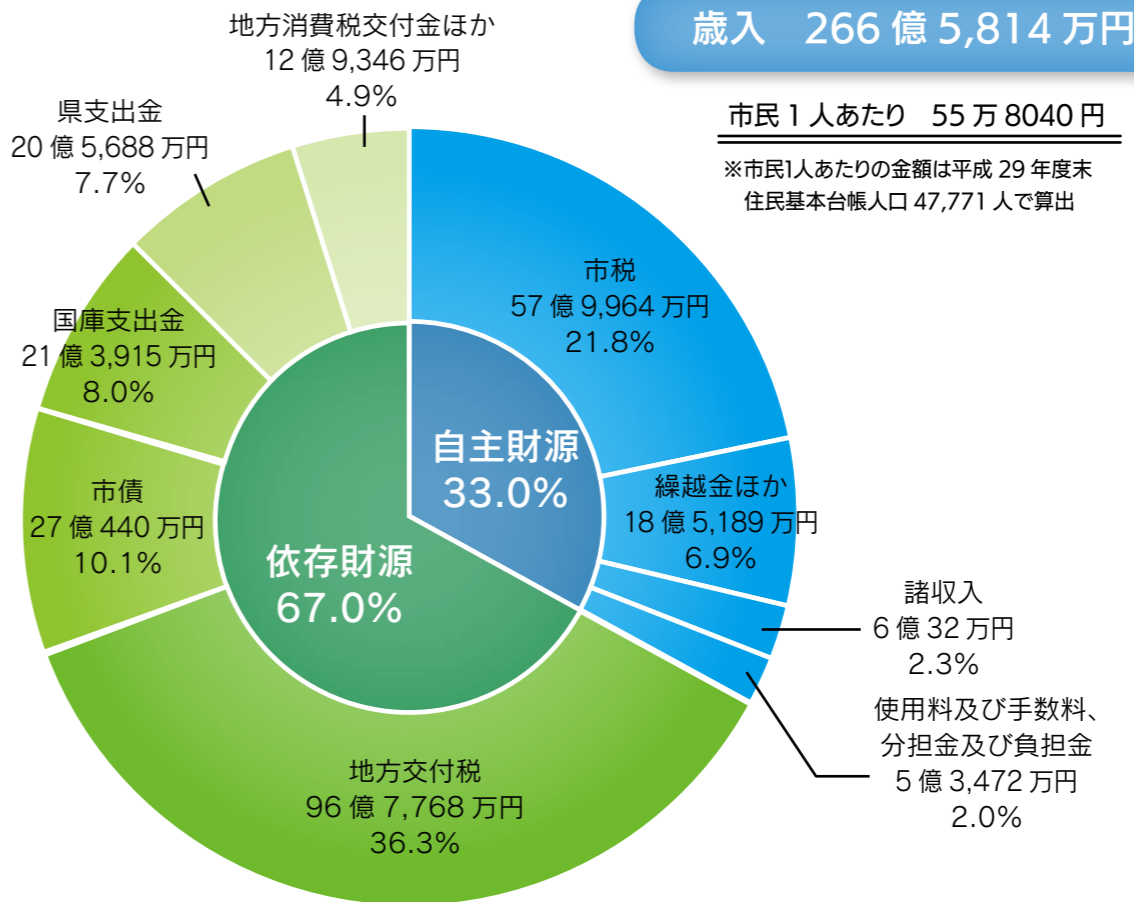
**3 歳児以上保育料無料化事業**  
民生費 2 億 4,950 万円  
(一般財源影響額)  
児童 1 人あたり 約 20 万円



**コミュニティバス運行事業**  
土木費 1 億 1,332 万円  
コミュニティバス(らん・らんバス)を運行することにより、市民の生活移動手段の確保に努めました。



**地区公民館大規模改修事業**  
教育費 3 億 2,150 万円  
地区公民館(広田・湊・北阿万)の大規模改修を実施しました。



平成 29 年度一般会計の決算額は、歳入が 266 億 5814 万円、歳出が 262 億 872 万円でした。そのうち平成 30 年度へ事業を繰り越して使う財源を差し引いた実質収支は、3 億 3842 万円の黒字決算となりました。計画的な繰上償還の実施により、市債の元利償還金、残高ともに減少していることから、各種財政指標も改善しました。

今後も新たな市債の発行を抑制するとともに、自主財源の確保に努め、健全な行政運営を行ってまいります。